

科目名称：	経済学（ビジネス実務学科）	
担当者名：	井上 克洋	
区分	授業形態	単位数
基礎教育科目	講義	2
授業の目的・テーマ		
<p>本講義は、将来社会人として活躍していく皆さんに、経済の基本的な仕組みやその考え方を理解してもらうことを目指しています。概論的内容であるために専門的な内容には立ち入りませんが、新聞やテレビ報道で話題になっている現実の経営に関するニュースに出来る限り触れながら、就職活動においても役立つ講義をすすめていきます。</p>		
授業の達成目標・到達目標		
<p>①経済に関する基本的な用語と仕組みを理解すること、②新聞やテレビのビジネスニュースの背景や内容が理解できるようになること、③企業人が話題とするような経済問題について意見交換が出来るようになること。</p>		

基礎教育科目	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神「遊学の精神の涵養」と設立の理念「金城から地球を歩こう」を基に、基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身についている。	○
DP(2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、それぞれの専門分野において貢献できる実践力を身につけている。	
DP(3)	多様な社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(4)	学生一人ひとりが、様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力が身についている。	

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
全学DP(1)		90		10	100
全学DP(2)					0
全学DP(3)					0
全学DP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》 公益社団法人日本監査役協会事務局（会社法制度と経済効果に関する調査研究）	《経験年数1》 8年
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 経済学の基本～需要と供給に関するディスカッション	過去数日間の新聞記事(経済欄)に目を通してくる。	40分
第2回 景気循環～日銀短観の意味	景気とは何か、その意味について予習してくる。	30分
第3回 経済と政治～大きい政府と小さい政府	財政とは何か、その意味について予習してくる。	30分
第4回 経済政策と経済思想Ⅰ～アダム・スミス	産業革命や工業化について、予習してくる。	30分
第5回 経済政策と経済思想Ⅱ～J.M.ケインズ	J.M.ケインズについて、予習してくる。	30分
第6回 小テスト	過去5回の講義内容を復習してくる。	30分
第7回 政治と経済～公共事業と地方経済	公共事業とは何か、予習してくる。	30分
第8回 小泉改革	元首相の小泉純一郎について調べてくる。	30分
第9回 日銀の金融政策Ⅰ	日本銀行について調べてくる。	30分
第10回 日銀の金融政策Ⅱ	前回及び今回の講義内容をまとめる。	30分
第11回 小テスト	過去5回の講義内容を復習してくる。	30分
第12回 外国為替	外国為替とは何か、予習してくる。	30分
第13回 産業構造と貿易	産業構造とは何か、予習してくる。	30分
第14回 世界の経済～講義とディスカッション	最近の世界経済について、新聞等を使って気になる情報を集めてくる。	30分
第15回 小テスト	過去3回の講義内容を復習してくる。	30分
<p>事前事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。 また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(小レポート)をまとめることになる。</p>		
<p>成績評価の方法・基準</p> <p>定期試験は、90%で評価する。その他の評価配分は、以下のとおりである。 30点満点の小テストを3回実施、残りの10点は各学生の講義への関与度合で採点する。</p>		
<p>課題に対するフィードバック</p> <p>小テストに関しては、テスト後に記載すべきだった重要なポイントを解説し、加えて模範解答を示して対応する。</p>		
<p>教科書・参考書</p> <p>講義レジュメを毎回配布する。参考書については、適宜紹介する。</p>		